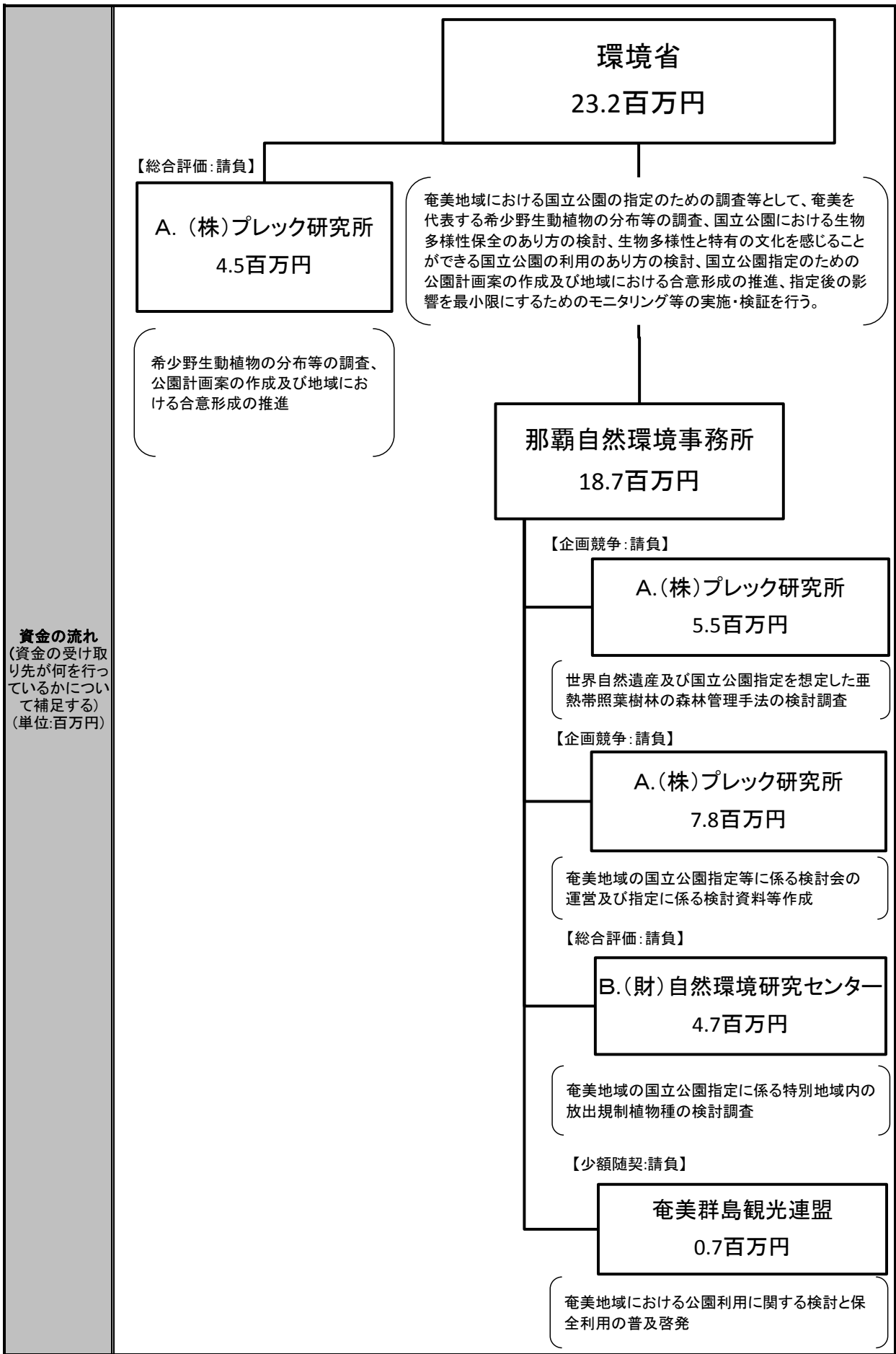


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	奄美地域国立公園指定推進調査費	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	自然環境局	担当課室	国立公園課	課長 上杉 哲郎		
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	生物多様性国家戦略2010第1部第4章第2節3			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	アマミノクロウサギに代表される多くの希少固有生物種を育む亜熱帯の照葉樹林を中心に新たな国立公園を指定し、ひいては世界自然遺産登録を目指す。このため、これらの生物多様性の豊かな地域を保全し、その自然と一体となって育まれた文化を実感できる新しいタイプの国立公園の指定を推進し、これに必要な奄美地域における生物多様性の保全と利用のあり方を検討する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	奄美地域における国立公園の指定のための調査等として、①奄美を代表する希少野生動植物の分布等の調査、②国立公園における生物多様性保全のあり方の検討、③生物多様性と特有の文化を感じることができる国立公園の利用のあり方の検討、④国立公園指定のための公園計画書の作成及び地域における合意形成の推進、⑤指定後の影響を最小限にするためのモニタリング等の実施・検証を行う。					
実施状況	平成21年度は以下の事業を実施した。 ①希少野生動植物の分布等の調査 ②国立公園における生物多様性保全のあり方の検討 ③生物多様性を感じることができる国立公園の利用のあり方の検討 ④公園計画書の作成及び地域における合意形成の推進					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	24	24	24
	執行額	-	-	23		
	執行率	-	-	97		
	総事業費(執行ベース)	-	-	23		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	環境省において、発注時よりその内容を把握しながら実施するとともに、奄美地域を担当する那覇自然環境事務所及び奄美自然保護官が、当該事業の執行に際しては、期間全体にわたって指導・監督に努めており、使途の把握水準は確保されている。 特に、現地調査に関する連絡調整、会議開催内容等について事前指導を行った上で会議に出席するとともに、調査実施前には時期、内容、体制等の調査計画や使用する備品等についても確認し、必要な助言・指導を行っている。				
	見直しの 余地	本事業は、奄美地域の国立公園化と世界自然遺産登録を視野に入れ実施しているものであり、既存データの収集に加え、現地調査を実施し、効率的に現地調査等により得られた情報を活用することで、我が国の生物多様性保全の観点から見た奄美地域の位置づけを整理するとともに、生物多様性保全及び生態系ネットワークの確保の観点から、効果的に国立公園として保全すべき重要な区域について保全管理手法の検討を行う。				
予算 監視 の 所 見 率	現状維持 (奄美地域の国立公園への指定は自然環境保全上重要性が高い。これまでの事業から、国立公園への指定へ向けたより具体的な事業がとられることが望ましい。)					
補 記						



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. プレック研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	奄美地域国立公園指定推進調査業務	5			
雑役務費	琉球諸島の世界自然遺産及び国立公園候補地における亜熱帯照葉樹林の森林管理手法検討調査業務	6			
雑役務費	奄美地域の国立公園指定等に関する検討会運営及び作業補助業務	8			
計		18	計		0
B. (財)自然環境研究センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	奄美地域における国立公園特別地域内放出規制植物種検討調査業務	5			
計		5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0